

農業を科学する

アグリとサイエンス



「TMRセンター」ってなに？ ～牛の給食センター～

牛などの家畜かちくに与えるえさ

の多くは外国から輸入あたらされていますが、最近輸入されるえさの値段ねだんが高くなっており、国内で作られたえさの重要性が見直されています。そのような中で、TMRセンターという「牛の給食センター」が今、注目を浴びています。

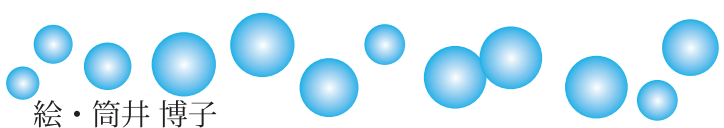
牛のえさは、牧草やわらなどの草食動物に必要な粗飼料そくじょう、トウモロコシや麦などのカロリーの高い濃厚飼料こうじょうじょうに分けることができます。TMRは、これら粗飼料と濃厚飼料にビタミンなどを加えて均一に混ぜたいわば「牛のまぜご飯」といえ、このほか

にはえさを与える必要がないため、完全混合飼料ぜんぜんけいごくじょうとも呼ばれます。

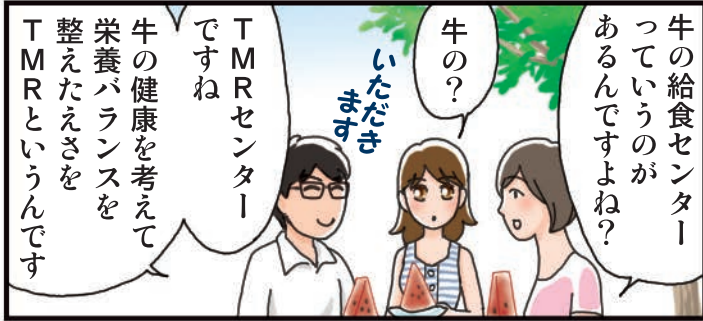
実は牛にもえさの好き嫌いきらいがあって、多くの牛は濃厚飼料こうじょうじょうが大好きです。もし濃厚飼料ばかりを食べてしまつと、その牛は栄養バランスを崩くずしてひどい場合には病気になることもあります。しかし、TMRのように、粗飼料と濃厚飼料が均一に混ぜて栄養バランスのとれたえさを食べれば、牛は健康を維持いじして、おいしい牛乳ぎゅうにゅうをたくさん生産してくれます。

えさの種類や水分にもよりますが、乳牛1頭は1日にえさを60〜70キロ食べます。乳牛を100頭近く飼う酪農家たうのかがTMRを与える場合には、毎日数トンのえさを混ぜて牛に与える必要があります、この作業はとても重労働です。

また、最近では、食品工場から出される規格品外となつたパンやうどんなどの食品残さや豆腐粕とうふかす（オカラ）などが家畜のえさとして有効に利用されていますが、発生量



絵・筒井 博子



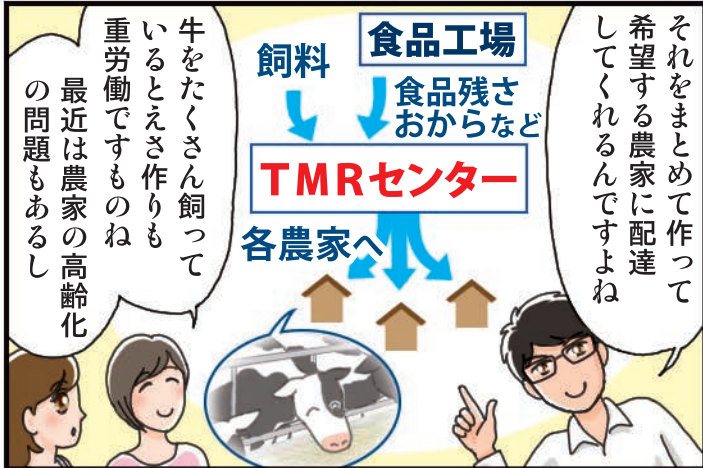
牛の給食センター
っていうのが
あるんですよ？

牛の？

いただきます

TMRセンター
ですね

牛の健康を考慮して
栄養バランスを
整えたえさを
TMRというんです

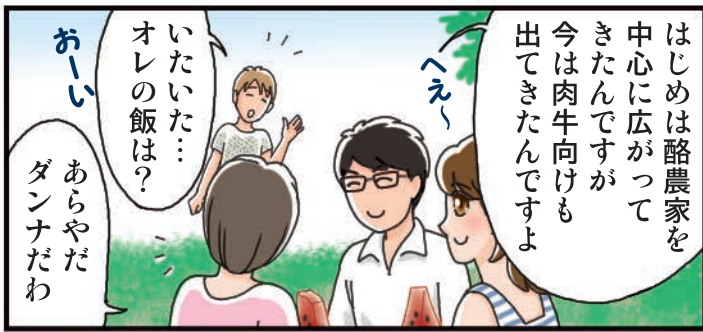


それをまとめて作り、希望する農家に配達
してくれるんですよ

食品工場
↓
食品残さ
おからなど
↓
TMRセンター
↓
各農家へ

飼料

牛をたくさん飼っている
とえさ作りも
重労働ですものね
最近では農家の高齢化
の問題もあるし



はじめは酪農家を
中心に広がって
きたんですが
今は肉牛向けも
出てきたんですよ

へえ

いたいた...
オレの飯は？

あーい
あらやだ
ダンナだわ



あらやだ
...っておい

ダンナのご飯も
作って届けて
欲しいわね

はあ...

あはは...

ふんふんむき

が多いために1戸の農家ではこれらの食品残さや粕類を全て受け入れることができません。

◆栄養を整えたえさ 農家へ配達

そこで、複数の農家分のTMRをまとめて作り、希望する農家に配達するTMRセンターが注目されています。機

械や設備を備えたTMRセンターであれば、個々の農家では対応しきれない多様な原料を使って、栄養バランスのとれたえさを安価に大量に作れます。しかも、TMRを農家まで配達してくれますので、農家にとってはとても便利なサービスです。TMRセンターが「牛の給食センター」と言われるのはこのような理由からです。

